

# **AINA PTT Voice Responder Buddycom\_Setup\_Guide v1.7.7**

**株式会社サイエンスアーツ**

# ● 製品情報

## 正面

エマージェンシー

メインPTT(PTT1)

LED

サブPTT(PTT2)

ソフトボタン 左  
(SWB1)



電源、ペアリング

ソフトボタン 右  
(SWB2)

電話着信/受信  
マルチファンクション  
(MFB)

## 背面

ボリュームアップ  
ボリュームダウン

3.5mm 4ピン  
オーディオコネクタ



端末名

充電ドックコネクタ

MicroUSBコネクタ

## 1.パッケージ内容の確認

- 本体 1台
- MicroUSB充電ケーブル 1台

## 2.はじめに

箱から取り出して充電してください。初回の充電は最低3時間必要です。電源をオンにするまでは、LEDが点灯しません。1度電源をオンにすると、LEDが有効になります。

## 3.発話時のポイント

発話をする際は、AINA PTT Voice Responderを口から15~20cm程度の距離を保つことを推奨しています。

## 4.マルチペアリングについて

セキュリティ上の理由から、シングルペアリングでのみ利用可能です。

## 3. 主要操作

状態	操作
電源オン/オフ	電源ボタンを3秒長押しします。
ボリュームアップ/ダウン	ボタンを長押しします。デフォルト設定では、ボリュームボタン操作時にピーブ音は鳴りません。ピーブ音を鳴らすには、ワイドバンドモード設定を変更してください。 注意:iOSはOSの仕様上、音声利用時のみ、ボリュームボタンが動作します。
ペアリングモード	電源オフの状態、LEDが高速に点滅するまで長押しします。ペアリングモードの状態、5分経過すると、電源がオフになります。
ソフトウェアリセット (ペアリング設定解除)	ペアリング済みのデバイスのペアリング設定を解除します。 PTT1、PTT2、SWB1、SWB2の4つのボタンをオレンジ色にLEDが1回点灯するまで同時に長押しします。その後、緑色のLEDが点灯し、ペアリングモードになります。
電話応答/切断	MFBボタンを押して応答します。長押しして切断します。電話中にボタンを押すと音声をミュートします。
コバートモード	LEDとスピーカーをオフにして、オーディオコネクタに接続したイヤホンへ音声を流すモードです。SWB1、SWB2を同時に長押しします。
ワイドバンドオーディオ オフ	高品質の音声を利用するためのワイドバンドモードは、デフォルトでオンになっています。電源をオフにして、ボリュームアップボタンを押しながら電源をオンにすると、ワイドバンドモードをオフにできます。このとき電源オンのLEDはオレンジです。この設定は電源をオフにしても維持されます。
ストレージモード	工場出荷時の状態に戻します。ソフトウェアリセットの後に、次の操作を行ってください。 (1) エマージェンシーボタンを押しながら電源をオフにします。 (2) 最初に、電源ボタンを離し、2秒後にエマージェンシーボタンを離します。 ストレージモードになったことを確認するには、エマージェンシーボタンを押しながら電源ボタンを押してください。緑のLEDが点滅ではなく、点灯します。確認後、製品の電源をオフ・オンしてください。

## 4. 主要LEDパターン

EVENT	LED	LEDパターン
電源オン	緑	2秒点灯
電源オフ	赤	2秒点灯
接続待ち(*1)	緑	3回点滅、繰り返し
ペアリングモード	緑	1回点滅、高速に繰り返し
接続中	青	1回点滅、繰り返し
コバートモードオン	青	2回点滅
コバートモードオフ	青	2回点滅
充電中	赤	点灯
充電完了	緑	点灯
Lowバッテリー	赤	各LEDパターンの色が赤に変更

\*1) ペアリングが設定されている端末との接続が完了していません。端末のBluetooth設定を確認して接続してください。

## 5. 製品スペック

Bluetooth規格	2.1 + EDR Class 2
Bluetooth接続範囲	10~25m
対応OS	iOS 10以降、Android
連続使用時間	24時間
充電時間	2時間
動作時環境温度	-30℃~60℃
耐久性能	IP67、MIL規格9項目準拠 (低圧、高温、低温、温度衝撃、液体汚染、湿度、塩水噴霧、振動、衝撃/落下)
最大音量	105DB
オーディオ性能	ノイズキャンセル、エコーキャンセル、風切音低減
重量	125g
最低充電電流	500mA(充電ドック利用時:700mA)
最大充電電流	2.8A
メーカー保証	1年

# ● Buddycomとの連携 -iOSの場合-

## 1. ペアリング

電源オフの状態から、LEDが高速に点滅するまで長押しして、ペアリングモードにします。

iOSのBluetoothをオンにし、AINA PTT Voice Responderの背面にあるマイク番号を確認して、ペアリングしてください。



※ペアリング後は、音声プロフィール用と、PTTボタン連携用の2つの端末名が表示されます。  
※ボリュームダウンボタンを押しながら電源をオンにすると、KodiakモードがオンになりBuddycomと連携できません。「Kodiak-PTT」と表示が出たKodiakモードで接続されていますので、以下の手順でリセットしてください。

- (1)ソフトウェアリセットを行う
- (2)ストレージモードにする
- (3)ペアリングモードにして再度ペアリング設定を行う

## 2. Buddycomの設定

### ■Aldioの場合

Aldioを起動し、「設定」の「Bluetoothアクセサリ接続」から「APTT」を選択します。利用するマイク番号が表示されるので、選択してください。

### ■Buddycomの場合

Buddycomを起動し、「設定」の「デバイスの設定」を選択します。

「連携中のデバイス」にペアリングしたAINAマイクのマイク番号が表示されたら設定は完了です。

設定後、メインPTTボタンを押下し、発信ができます。

※自動で接続しない場合は、「自動連携」を押してください。

<Aldio>

<Buddycom >



デバイスを変更する場合は、「解除する」ボタンで現在のデバイスの連携を解除して、新しいデバイスと連携してください。



# ● Buddycomとの連携 -iOSの場合-

## 3. 再接続

Bluetooth接続が切れた場合(スマートフォンとAINA PTT Voice Responderの距離が離れたとき。スマートフォンの電源を再起動したとき等)は、以下の操作を行ってください。

- (1) Buddycomのアプリを起動する
- (2) iOSのBluetooth設定画面を開き、AINA PTT Voice Responderの電源をOFFにして、再度ONにする
- (3) iOSとAINA PTT Voice Responderが接続するまで待機する
- (4) PTTボタンがBuddycomと連携するまで待機する



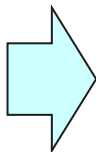
※ペアリング後は、音声プロフィール用と、PTTボタン連携用の2つの端末名が表示されます。

# ● Buddycomとの連携 - Androidの場合-

## 1. ペアリング

電源オフの状態から、LEDが高速に点滅するまで長押しして、ペアリングモードにします。

AndroidのBluetoothをオンにし、AINA PTT Voice Responderの背面にあるマイク番号を確認して、ペアリングしてください。



## 2. Buddycomの設定

Buddycomの設定は必要ありません。  
メインPTTボタンを押下し、発信ができます。



※ペアリング後は、音声プロフィール用と、PTTボタン連携用の2つの端末名が表示されます。  
※ボリュームダウンボタンを押しながら電源をオンにすると、Kodiakモードがオンになり  
Buddycomと連携できません。「Kodiak-PTT」と表示が出たKodiakモードで接続されていますので、以下の手順でリセットしてください。

- (1)ソフトウェアリセットを行う
- (2)ストレージモードにする
- (3)ペアリングモードにして再度ペアリング設定を行う



# ● 電話応答

## 1. AINA PTT Voice Responderを使って電話に出る方法

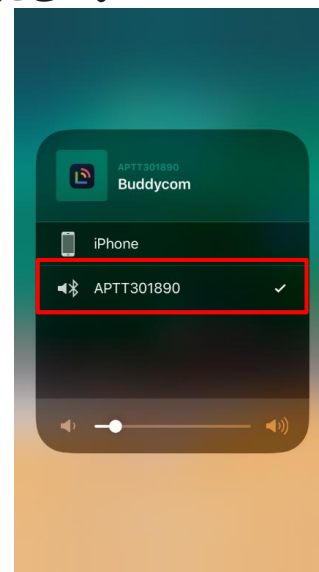
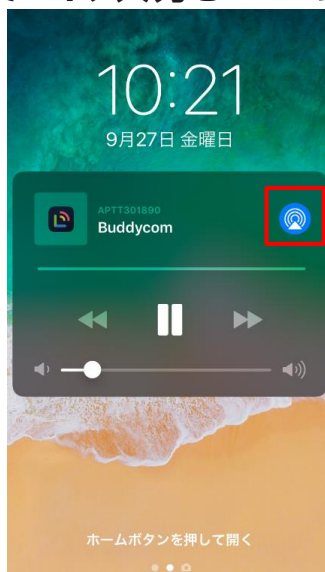
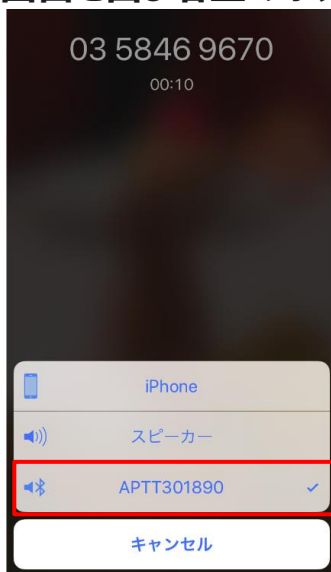
外線電話がかかってきた場合は電話着信(MFB)ボタンを短く1度押してください。  
電話を切る場合も電話着信(MFB)ボタンを長く1度押してください  
電話が終了すると自動的にBuddycomに復帰します。



## 2. スマートフォン本体で電話に出たとき(iPhoneの場合)

スマートフォン本体で電話を通話、受話した場合、

- ① 電話を切る直前にオーディオを押してAPTTを選択してください。
- ② もしくは電話を終了した後に画面下から上にスワイプorロック画面にて下記中央の画面を出し右上のボタンを押してマイク入力をAPTTに切替えてください。





# ● Bluetooth連携の注意

## 1.iOS,Android共通の注意事項

### 1) バッテリー残量の確認について

バッテリーの残量が少ないとLED点灯パターンが赤になります。充電してください。充電時間は2時間です。

## 2.iOSとの連携での注意事項

### 1) iOSのバージョンについて

iOS10には、Bluetoothに関して不具合があり、PTTボタンが連携しない、iPhone本体と本製品が接続できない等の事象を確認しております。iOS11以降での利用を推奨しております。

### 2) 電話との同時利用について

iOSのアクセシビリティ設定の通話オーディオルーティングを「Bluetoothヘッドセット」に変更してください。iOSの仕様上、本製品使用中にiPhone耳元のスピーカーに切り替えて電話してしまうと、電話後、Buddycomの音声出力が本製品ではなくiPhoneに切り替わってしまい出力できないことを確認しております。そのため、本製品で電話をお願いします。本製品から音声が出力されない場合は、本製品を再起動(電源をオンオフしてください)することで、本製品から音声を出力できるようになります。

# ● うまく動作しない場合の確認事項

## 1. 本製品のPTTボタンが反応しない、音が出力されない場合

### ①Wi-Fiの確認

Wi-Fiがオンになっていると、たとえ接続していなくてもBluetoothに干渉する可能性があります。Wi-Fiをオフにしてください。

### ②場所の確認

特定の場所で発生する場合、その場所の機器が何らかの影響をスマートフォンと本製品に与えている可能性があります。特定の場所で発生していないか確認をお願いいたします。

### ③ペアリングの確認

スマートフォンとマイクをペアリングできているか確認してください。通話とPTTボタンの連携の両方が完了している場合は、iOSのBluetooth設定では、本製品の名前が2つ表示され、どちらも接続済みとなります。  
※Androidの接続済み表示は1つです。

### ④Buddycomの設定の確認 (iOS)

Buddycomの設定で、「通話ボタンへの接続」を押してください。本製品を交換したときは、再度「通話ボタンへの接続」への接続を押す必要があります。※AndroidではBuddycomの設定は必要ありません

### ⑤iOSの音声出力設定の確認

iOSの音声出力設定が本製品になっていない可能性があります。  
音声出力を本製品に切り替えてください。手順の詳細は、Appleの「iPhone、iPad、iPod touch で音声出力を切り替える」ページをご確認ください。

# ● うまく動作しない場合の確認事項

## 1. (続き)本製品のPTTボタンが反応しない、音が出力されない場合

### ⑥原因が分からない場合

#### a.本製品の電源の再起動

電源を再起動して接続をお試しください。

#### b.Buddycomの再起動

Buddycomを再起動して接続をお試しください。

#### c.ペアリングとBuddycomの再設定

スマートフォンのペアリング設定から、本製品を削除して、再度ペアリングから行ってください。

#### d.本製品の初期化、および、Kodiakモードの解除

Buddycomと連携できないKodiakモードになっている場合があります。本製品を初期化し、再度ペアリングを行ってください。(手順:ソフトウェアリセット>ストレージモード>再ペアリング※各操作方法は主要操作をご参照ください)

## 2. バッテリー消費が多い場合

### ①スマートフォンの画面表示

スマートフォンは画面表示でバッテリーを大きく消費します。画面の明るさをできるだけ小さくしてください

### ②Wi-Fiのオン、オフ

Wi-Fiをオンにしていると、バッテリー消費が大きくなります。Wi-Fiはオフにしてください。

iOS11では、画面下からスワイプして表示するコントロールセンターでは、Wi-Fiを完全にオフにできないため、iOSの設定からオフにしてください。

# ● うまく動作しない場合の確認事項

## 3. 本製品で音量の上げ下げができない場合

iOSは仕様上、通話中またはアプリをフォアグラウンドにしているときのみ、音量の上げ下げができます。そのため、音声を大きくしたい場合には、iPhone本体の音量ボタンを押すか、または、Buddycomアプリをフォアグラウンドにしなから、本製品の音量ボタンを長押ししてください。

## 4. 声が小さい場合

### ① 指向性ノイズキャンセリングについて

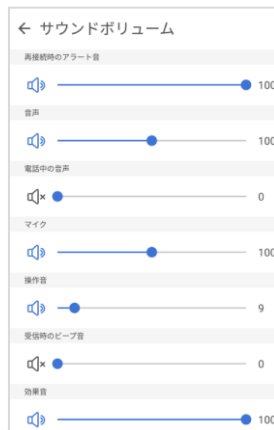
本製品は、周りの雑音をカットするため、指向性ノイズキャンセリングがついています。発話する場合は、口にマイクを近づけて話してください。

### ② 本製品の音量を上げる

スマートフォン本体、または、本製品の音量を上げてください。

### ③ Buddycomのサウンドボリュームを調整する

Buddycomアプリの設定>サウンドボリュームの各種音量を調整を行ってください。



# ● iOS12.4仕様変更対応

iOS版のBuddycom Version 1.2.1において、iOS12.4でBuddycomアプリがバックグラウンド状態のときに、アクセサリ発信できるように対応しました。

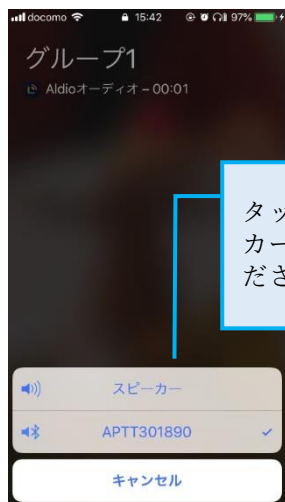
以下、iOS12.4でVersion1.2.1へアップデートした場合の動作の変更点です。  
(iOS12.3以前のバージョンの場合は、これまでの動作との差異はありません。)

## 1. Bluetoothアクセサリの発話/終話のボタン動作時間

Bluetoothアクセサリの発話/終話のボタンを押してから、発話開始/発話終了までに数十ミリ秒時間がかかります。有線アクセサリのボタンでの発話/終話動作はこれまでと同じで、アップデート適用による影響はありません。

## 2. Buddycom発信開始時の電話画面の表示

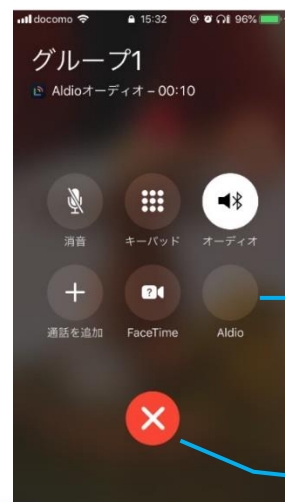
アクセサリや、iPhoneのコントロールパネルに表示されているBuddycomアプリの再生停止ボタンからの発信を行ったときに、次のような電話の画面が表示されます。



<音声出力先の切り替え画面>

タップすると、音声の出力先が「スピーカー」に切り替わりますので、ご注意ください。

※この画面は表示されない場合もあります。



<通話中の画面>

BuddycomをタップするとBuddycomアプリ画面に遷移します。

タップするとBuddycomの通話を終了します。

# ● iOS12.4仕様変更対応

## 3.電話アプリの着信履歴表示

電話アプリの着信履歴に、下記の例のようにBuddycomの発信履歴が追加されます。



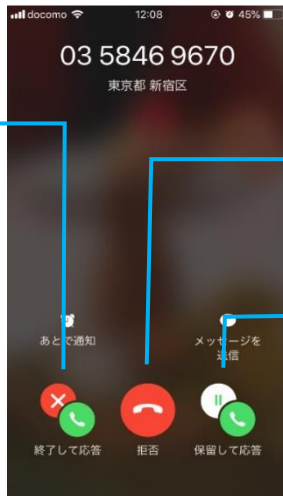
※追加されるのは、アクセサリからの発話だけで、画面ボタンからの発話は履歴に追加されません。

## 4.アクセサリから発話している時の電話の着信

アクセサリからの発話中に電話を着信すると、割り込み通話画面になります。

「終了して応答」をタップすると、iPhone端末の「通話オーディオルーティング」の設定によって、音声の出力先が変更され、電話に応答します。このとき、Buddycomアプリの通話は切断されます。自動にした場合、アクセサリから音が出なくなってしまうので、**Bluetoothヘッドセットを推奨します。**

設定値	音声の出力先
自動	iPhone
Bluetoothヘッドセット	Bluetoothヘッドセット
スピーカー	スピーカー(iPhone)



<割り込み通話画面>

「拒否」をタップすると、電話の応答を拒否して、Buddycomの通話を継続します。

「保留して応答」をタップすると、音声の出力先はアクセサリのまま、電話に応答します。このとき、Buddycomアプリの通話は切断されます。

※電話発信中の割り込み通話と音声出力先の変更動作は、これまでと同じ動作です。